



立ち会い分娩を希望される方へ 以下の点をご留意ください



- ・分娩のため入院された場合、ご主人様は陣痛室・分娩室への入室が可能です。
ただしご主人様が立ち会えない場合は産婦様が希望するご家族1名のみ入室が可能です。
- ・産婦様の希望する方以外の入室はお断り致します。
- ・ご主人様やご家族様はあくまでサポートです。付き添っていらしても、お産は産婦様が自分で産むという信念が必要です。
- ・付き添われる方は産婦様を心身共にリラックスできるようにサポートしてください。
- ・産婦様をサポートできるように産婦様と共にお産について勉強しておいてください。
- ・できるだけ母親学級・パパママクラスに参加してください。
- ・陣痛室は 4 人部屋となっております。他の患者様の迷惑となるような行動はお控えください。
- ・分娩室にて分娩が重なった場合、入室できない事もありますので御了承ください。
- ・陣痛室・分娩室へ入室される時は入室前に必ず陣痛室前の消毒液にて手を消毒してください。
- ・風邪をひいている方、熱のある方の立ち会いはご遠慮ください。
- ・病院敷地内は全面禁煙となっておりますので、ご了承ください。
- ・立ち会われる方の食事等は各自で準備をお願いします。立ち会われる方のベッドはありません。
- ・**お子様が立ち会う場合は、必ず大人の方(御主人様、お母様等)と一緒にお願いします。(お子様だけの立ち会いは原則的に出来ません)**
- ・帝王切開の場合、手術室の中への立ち会いはできません。
- ・**分娩中のビデオ・カメラ等の使用はお控えください。**
分娩後は、使用可能となりますので各自お持ちください。
- ・分娩後、赤ちゃんの状態によりカンガルーケアを行っております。パパカンガルーケアも行えますのでご希望の方は申し出てください。
- ・陣痛室分娩室へ立ち会われる方は、スタッフがお渡しする名札を必ずおかけください。
名札は産婦様が分娩室から病室へ移る際、スタッフにお返してください。



立ち会い分娩にはこんな効果があるとされています



WHO の 59 カ条より、明らかに有効で役に立つ、推奨されるべきことの中に「出産中に、産婦につきそう人(の存在)を、産婦の選択として尊重すること。(第 3 章 5)」とされており、一人の「ドゥーラ」など、産婦にずっと寄り添って心身のサポートをするひとりの人間の存在によって、分娩所要時間の短縮、有意に少ない薬剤の使用、アプガースコア 7 未満の減少、手術的な出産の減少など、多くの利点をもたらされることが実験で示され、産婦には、パートナーや親友、ドゥーラや助産婦など、一緒にいることで気持ちの安らぐ人に付き添ってもらうべきだとされています。また Klaus の研究によれば素人の女性(ドゥーラ)に産婦を一人にならぬように、ずっと付き添わせて腰をさすったり、手を握ったり、激励をしたりし、肉体的にも精神的にも支援させることをした結果、一人にさせられることの多かった産婦に比べ問題発生が少なく、医療介入が減少し、分娩所要時間も短縮したそうです。